

ヒヤリハットの現地掲示

看板化して現地に掲示し、注意喚起



これは現場独自に作成した「ヒヤリハット看板」です。ヒヤリハットは多くの場合、文章と絵で収集されますが、実際に起きた時の状況はなかなか他の人に伝えられません。そこで、実際に発生した現場で、そのヒヤリハットを申告した人に、発生時の状況を再現してもらい、それを看板にして現地に設置して周知するという方法を考案しました。

これにより、発生状況と発生場所が一目瞭然となり、誰もが同じ意識を持って注意できるようになりました。また、ヒヤリハットの収集も、文書で提出してもらうのではなく、社員がヒヤリングして収集するよう変更した結果、途端に収集数が増加しました。